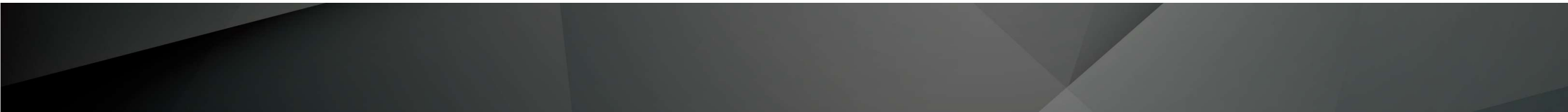


決算説明資料

2025年12月期 第2四半期

2025年 8月 12日
KINJIRO co., ltd.
勤次郎株式会社

- 
- 
1. 2025年12月期 第2四半期連結決算
 2. 2025年12月期 修正計画
 3. 中期経営計画の進捗状況
 4. トピックス

1. 2025年12月期 第2四半期連結決算

2. 2025年12月期 修正計画

3. 中期経営計画の進捗状況

4. トピックス

2025年12月期 第2四半期連結決算サマリー

■ HRM事業の伸びが加速し、成長を力強く牽引

クラウド事業においては、クラウドライセンス数の獲得が堅調に推移
また、オンプレミス事業においても、予想を上回る引き合いが続き伸長

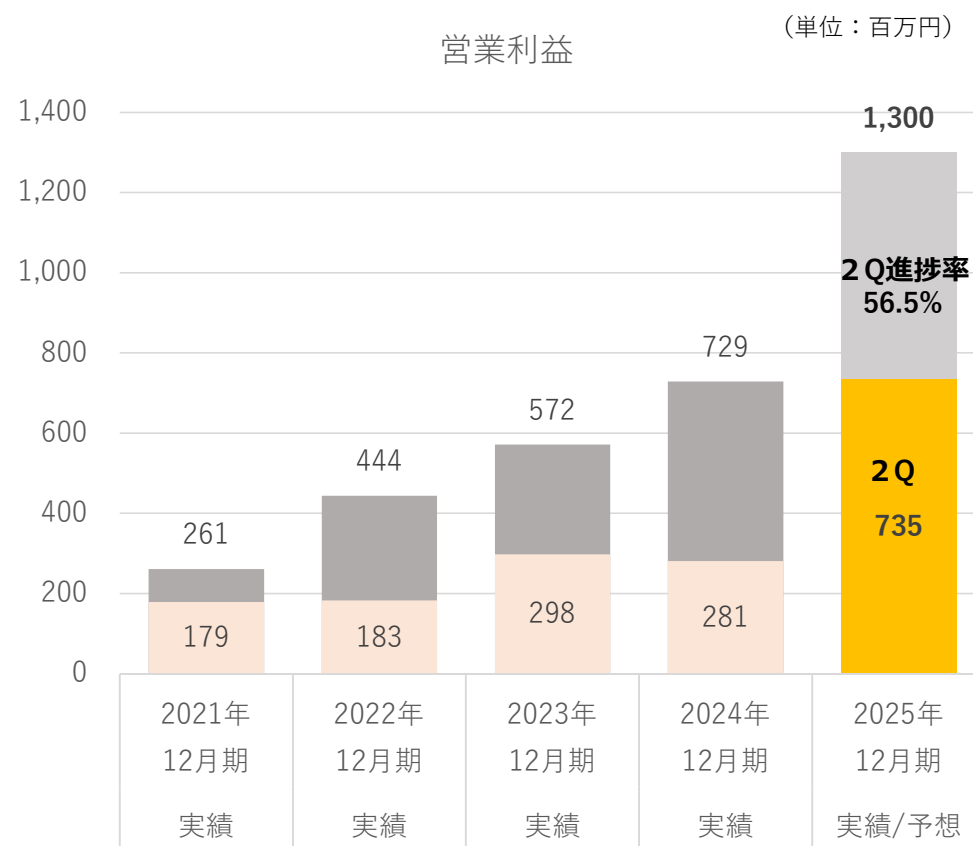
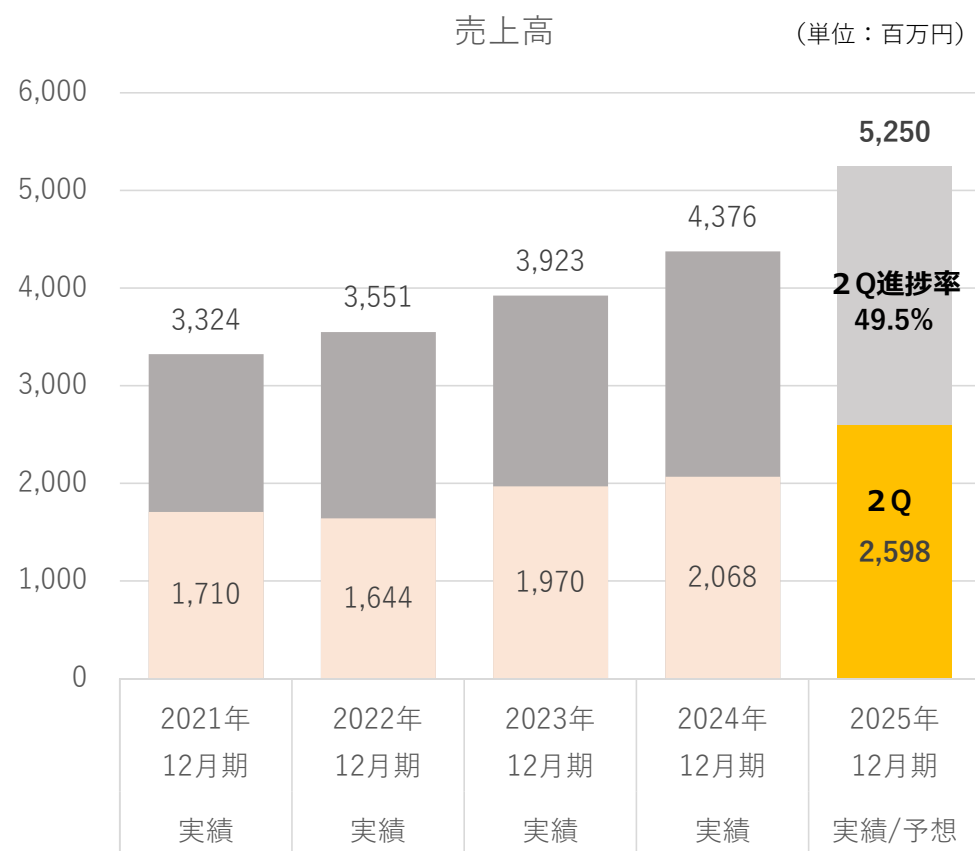
その結果、売上高・各利益ともに過去最高値を達成

(単位：百万円)

	2024年12月期 第2四半期実績	2025年12月期 第2四半期業績予想 (2025年7月25日発表)	2025年12月期 第2四半期実績	前年同期比 増減率(%)	前年同期比 (百万円)
売上高	2,068	2,598	2,598	+26%	+529
営業利益	281	735	735	+161%	+453
経常利益	286	730	730	+155%	+443
当期純利益	190	480	480	+151%	+289

2025年12月期 第2四半期連結決算業績推移

■ 2Q業績の年間計画における進捗率は、売上高49.5%、営業利益56.5%で前年より進展



※2025年12月期第2四半期・通期業績予想につきましては、2025年7月25日に修正開示しております。

事業別売上前年同期比

■クラウド事業全体で前年同期比+36%と大きく伸長

(単位：百万円)

事業区分		売上区分	2024年12月期 第 2 四半期実績	2025年12月期 第 2 四半期実績	前年同期比 増減率	
売上高	H R M 事業	クラウド事業	クラウドライセンス	1,069	1,455	+36%
			クラウドコンサルサポート	256	308	+20%
			上記以外	61	121	+98%
			小計	1,386	1,885	+36%
		オンプレミス事業	プレミアムサポート	286	273	▲ 5%
			ソフトウェア製品	198	252	+27%
			ソフトウェアコンサルサポート	74	63	▲ 16%
			就業情報端末	36	47	+32%
		小計	595	636	+7%	
		合計	1,982	2,521	+27%	
※ リカーリングレベニュー	1,363	1,735	+27%			
不動産賃貸事業			86	76	▲ 12%	
合計			2,068	2,598	+26%	

※クラウドライセンス、プレミアムサポート等で構成されています

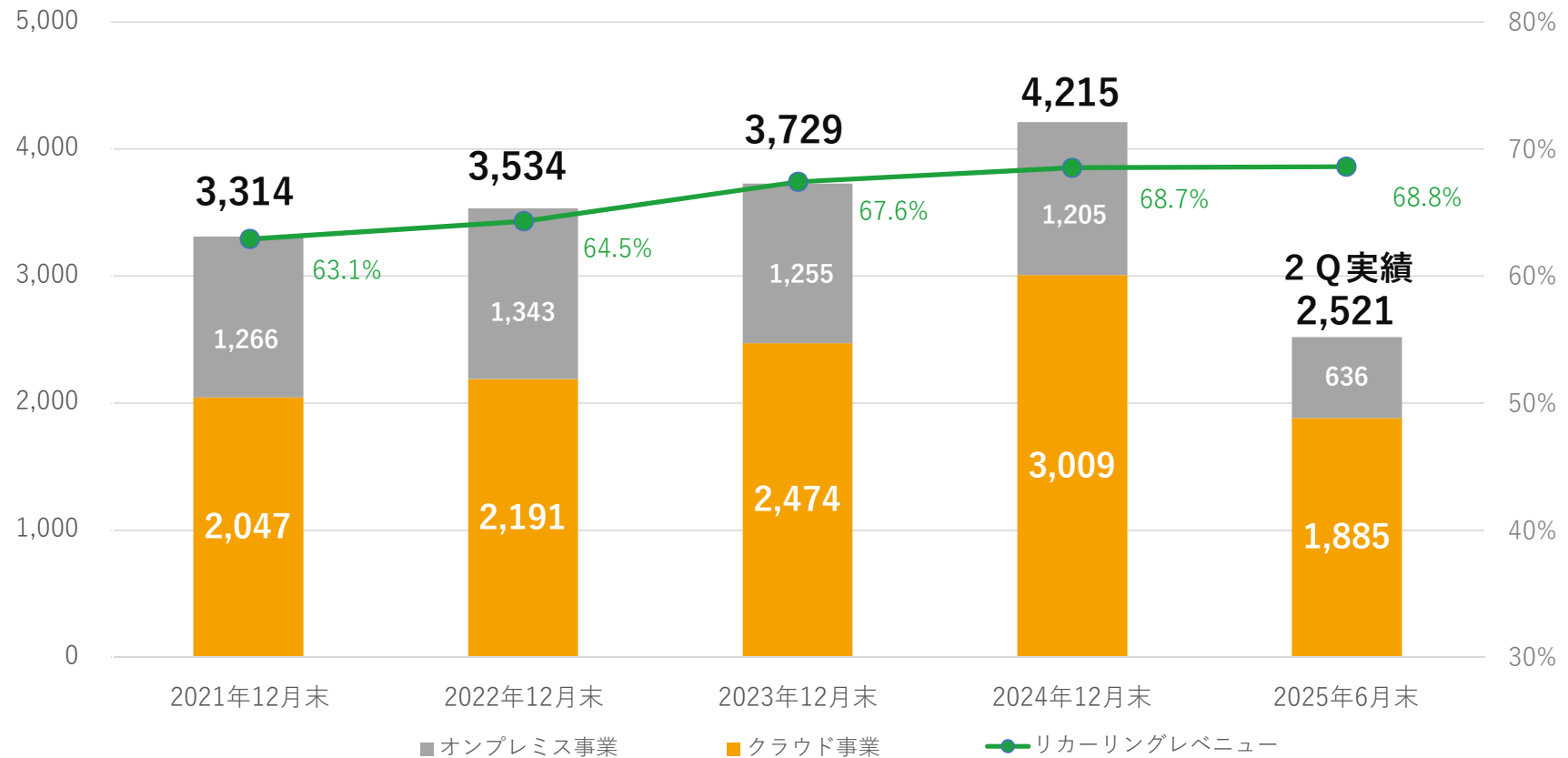
クラウド企業への変遷

■ HRM事業における推移

- ・クラウド事業の売上高占有率は、2021年12月期 61.6%から、2025年度2Q 74.8%と成長。
- ・安定収入を示すリカーリングレベニューの比率も、2021年12月期 63.1%から、2025年度2Q 68.8%に上昇。

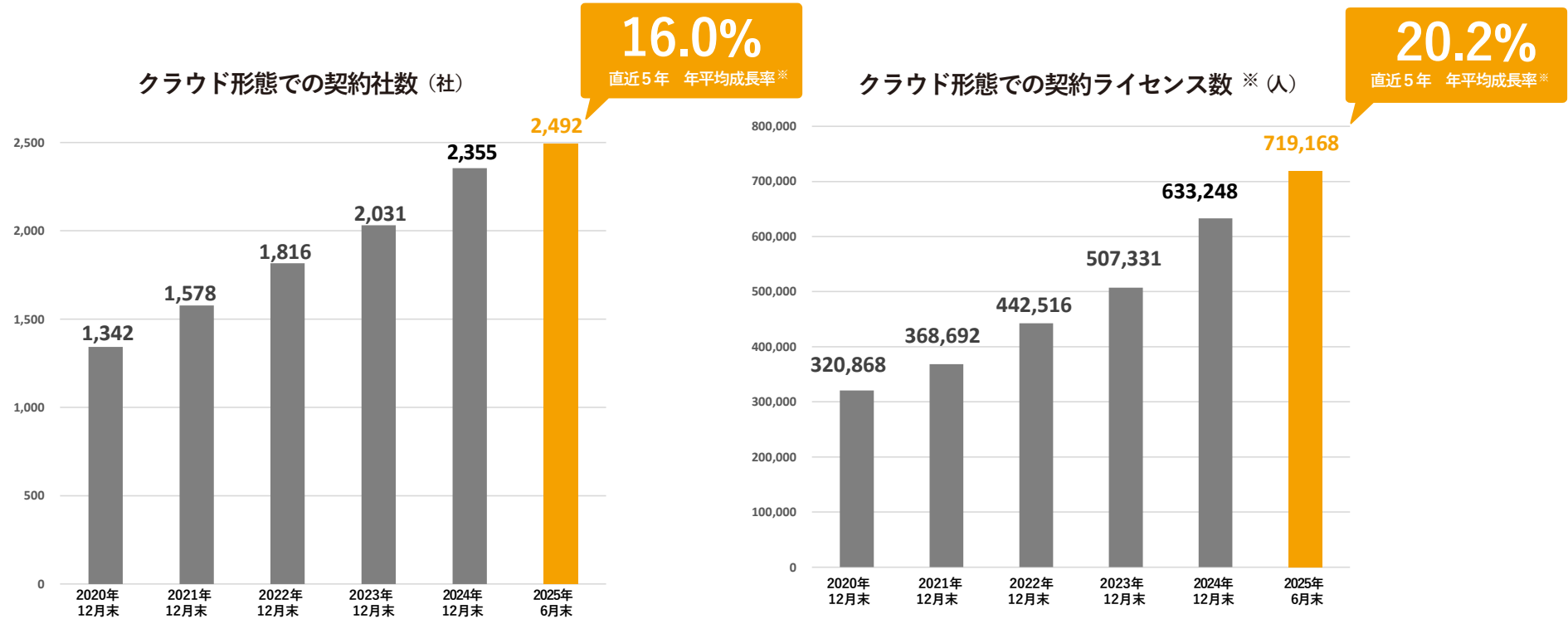
(単位：百万円)

(単位：%)



契約社数および契約ライセンス数

■契約ライセンス数は、年平均成長率20.2%と高い成長率を維持



契約ライセンス数は、顧客企業の1従業員が複数サービス（就業・人事・給与・健康経営）の利用がある場合でも1（人）として集計しています

ARPUの推移

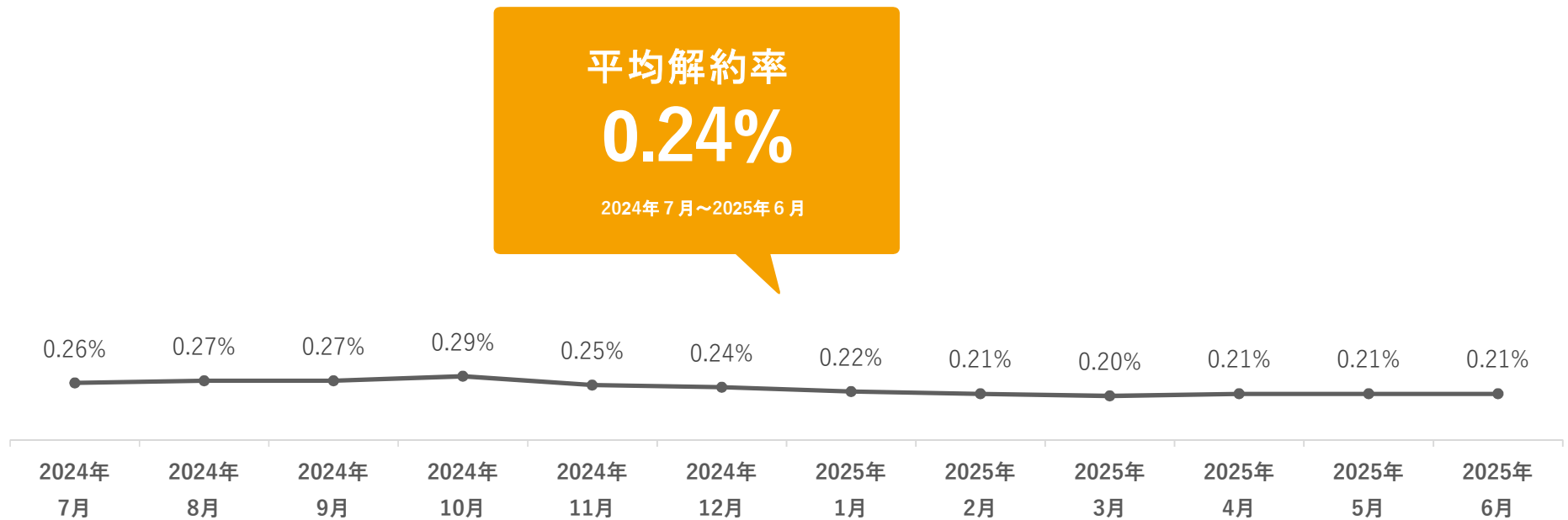
ARPU	2023年9月	2023年12月	2024年3月	2024年6月	2024年9月	2024年12月	2025年3月	2025年6月
Enterprise	353円	352円	351円	370円	379円	389円	395円	398円

※ 直近5年 年平均成長率は、2020年7月～2025年6月の期間で計算しています。

クラウド解約率

■クラウド月次平均解約率は0.24%と低位安定

クラウド解約率*

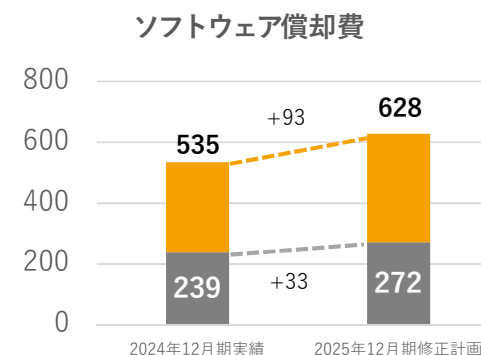
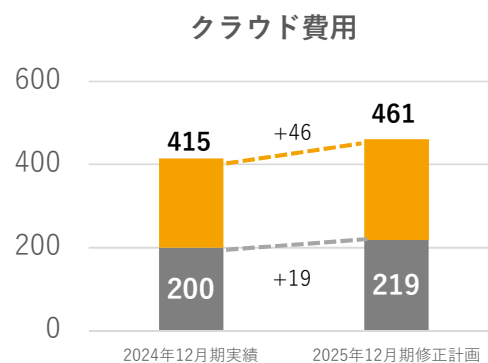
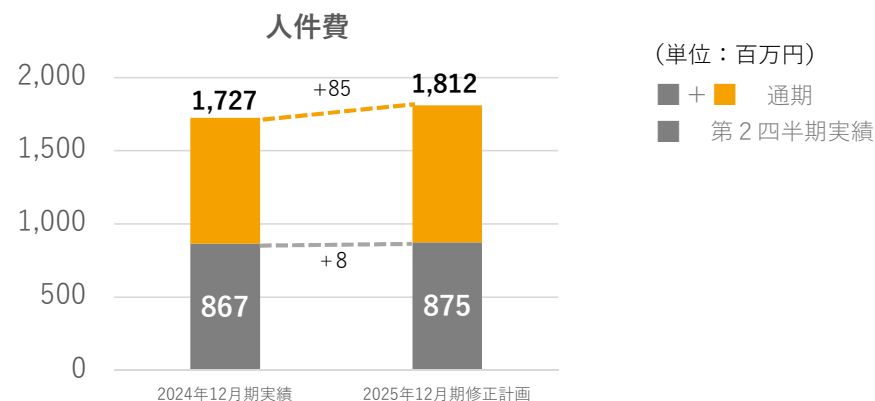
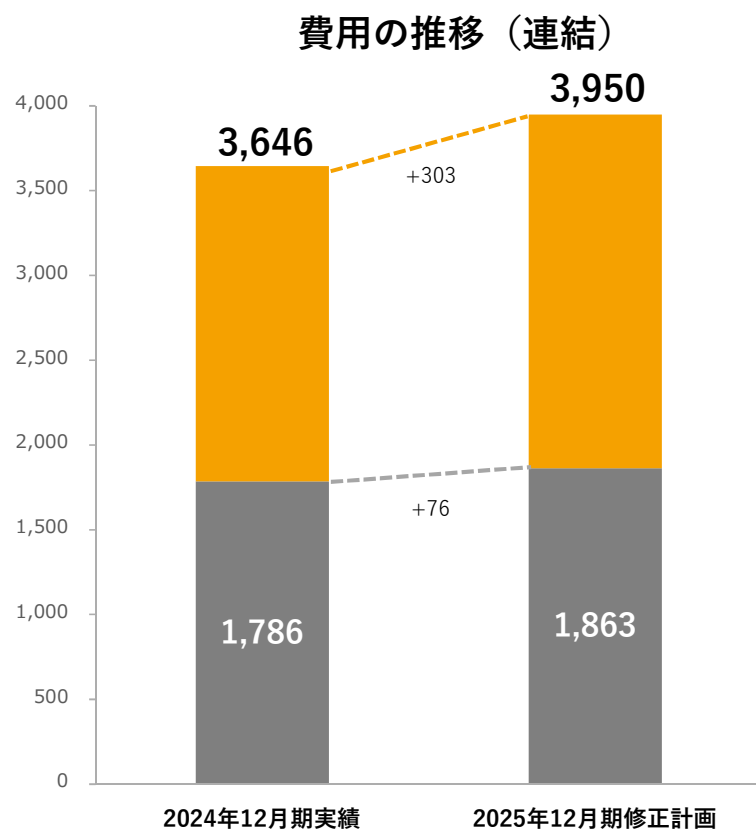


※ 月次平均解約率は、当月解約ユーザーに対する収益÷前月末収益で算出

コスト構造

■2025年12月期第2四半期のコスト構造

・クラウド事業の拡大に伴う先行投資（クラウド費用）とソフトウェア償却費等の増加により、前年同期比+76百万円の増加



※2025年12月期 通期業績予想につきましては、2025年7月25日に修正開示しております。

1. 2025年12月期 第2四半期連結決算

2. 2025年12月期 修正計画

3. 中期経営計画の進捗状況

4. トピックス

2025年12月期修正計画 サマリー

■引き続きクラウド事業を成長ドライバーとして事業を拡大

・売上高は前期比+20%、営業利益は前期比+78%、当期純利益は+80%を計画

(単位：百万円)

	2024年12月期 実績	2025年12月期 修正計画	前期比増減率 (%)
売上高	4,376	5,250	+ 20%
営業利益	729	1,300	+ 78%
経常利益	733	1,283	+ 75%
当期純利益	461	832	+ 80%

※2025年12月期 通期業績予想につきましては、2025年7月25日に修正開示しております。

2025年12月期修正計画（売上）

■引き続き、クラウド事業の拡大を加速

※クラウドライセンス、プレミアムサポート等で構成されています

（単位：百万円）

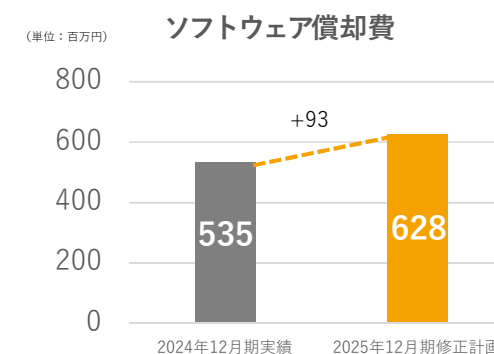
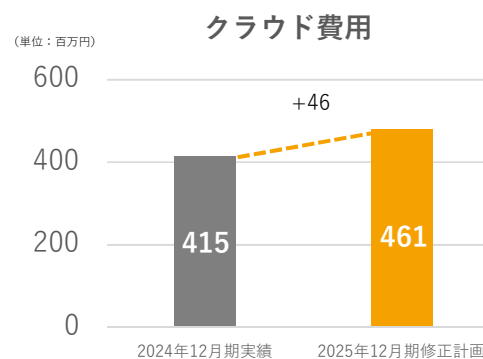
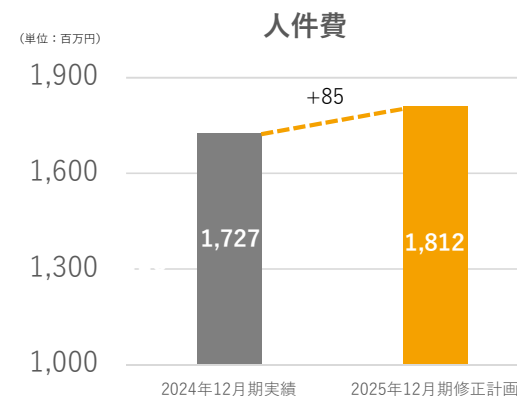
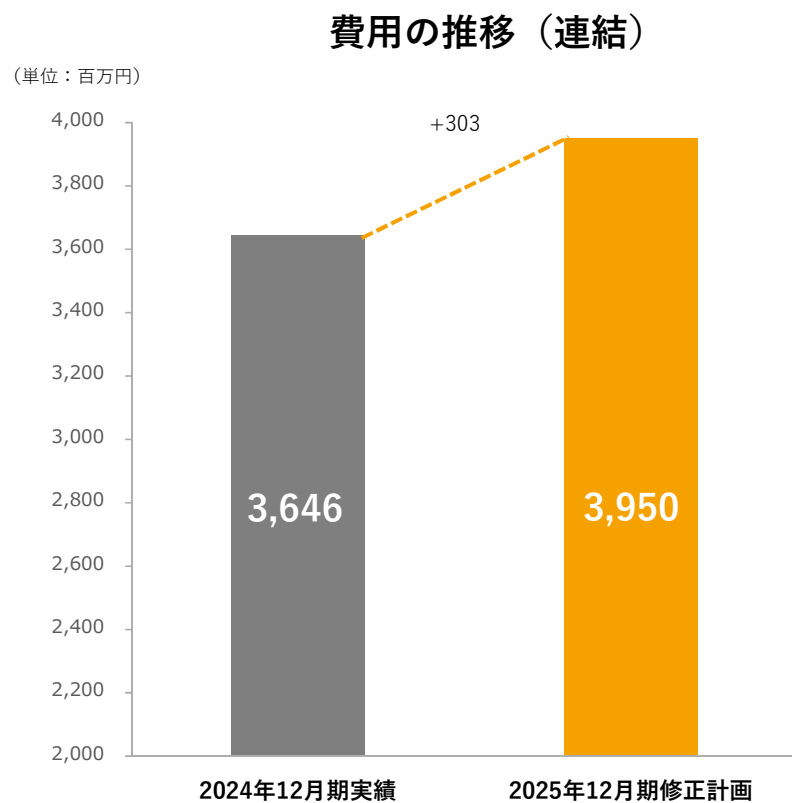
事業区分		売上区分	2024年12月期 通期実績	2025年12月期 修正計画	前期比 増減率
H R M 事 業	クラウド事業	クラウドライセンス	2,301	3,083	+34%
		クラウドコンサルサポート	540	599	+11%
		上記以外	167	197	+18%
		小計	3,009	3,881	+29%
	オンプレミス事業	プレミアムサポート	572	543	▲ 5%
		ソフトウェア製品	389	455	+17%
		ソフトウェアコンサルサポート	149	142	▲ 4%
		就業情報端末	94	74	▲ 22%
	小計		1,205	1,215	+1%
	合計		4,215	5,096	+21%
※ リカーリングレベニュー		2,897	3,652	+26%	
不動産賃貸事業		161	153	▲ 5%	
合計		4,376	5,250	+20%	

※2025年12月期 通期業績予想につきましては、2025年7月25日に修正開示しております。

2025年12月期修正計画（コスト）

■2025年12月期のコスト構造

- ・クラウド事業の拡大に伴う先行投資（クラウド費用とソフトウェア償却費等）の増加に加え、昇給等による人件費増加を見込む



※2025年12月期 通期業績予想につきましては、2025年7月25日に修正開示しております。

株主還元

■基本方針

株主への利益還元を経営課題の重点課題の一つとし、
将来の事業発展と財務体質強化のために必要な内部留保
を勘案しつつ配当を行う

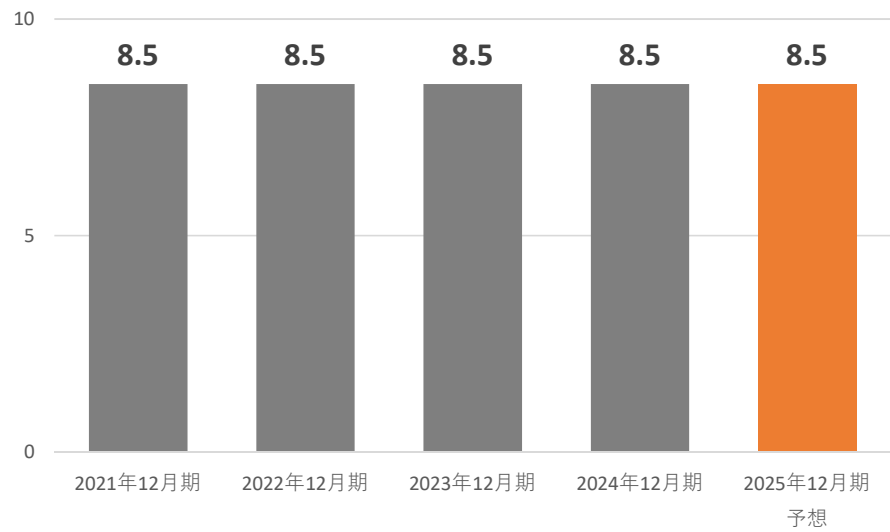
内部留保については、企業体質の強化に向けて財務体質の充実を
図りながら、社内システムへの投資や今後の成長に資する人員の
採用、広告宣伝に係る支出等に有効活用し、競争力及び収益力の
向上を図る

これまでに実施した株式の施策

時期	内容
2020年10月	東京証券取引所マザーズ市場 上場
2021年7月～10月	自己株式取得（517,500株）
2021年9月	東京証券取引所グロース市場 選択
2022年2月	取締役に対し譲渡制限株式を導入
2024年7月	1株につき2割の株式分割を実施

■配当金の推移

（単位：円）



※ 2024年7月に実施しました株式分割を考慮し表示しております。

1. 2025年12月期 第2四半期連結決算

2. 2025年12月期 修正計画

3. 中期経営計画の進捗状況

4. トピックス

中期経営計画

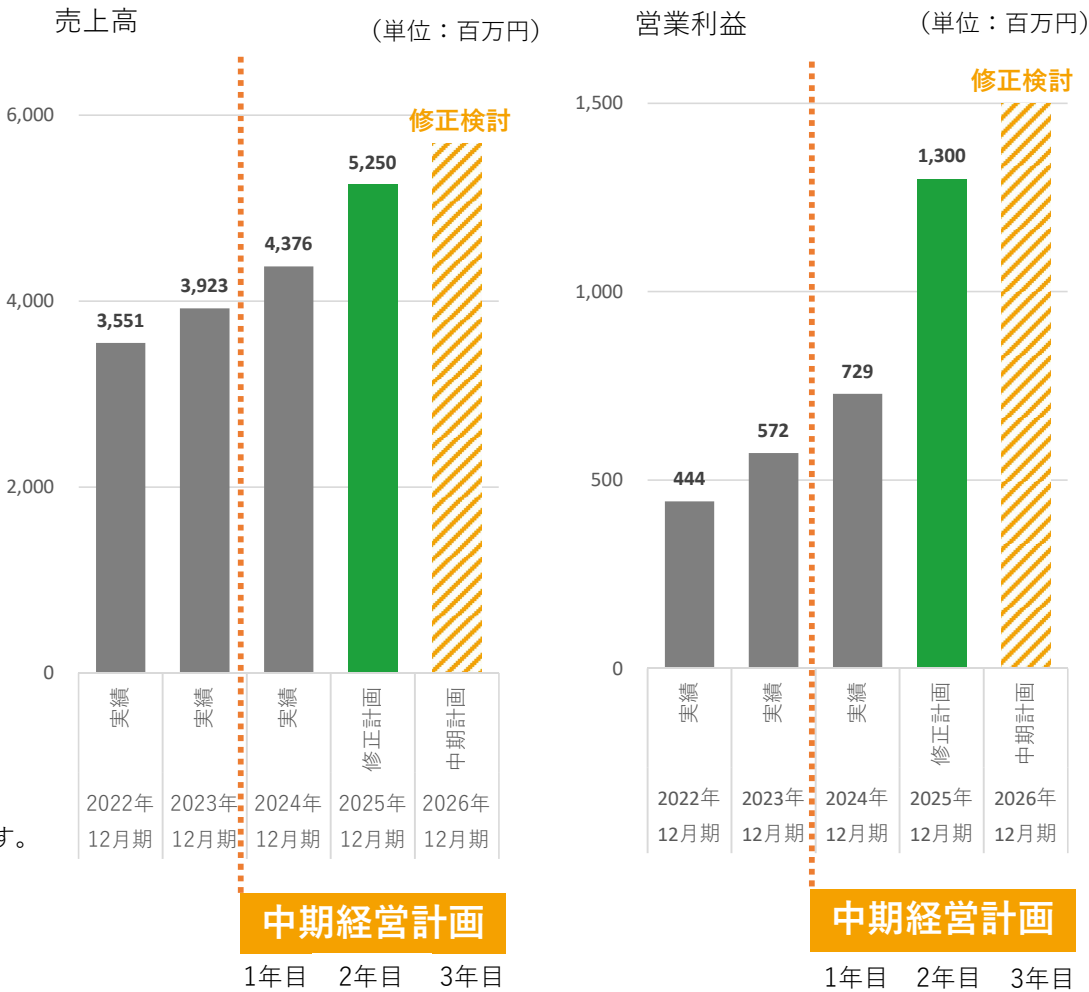
■目標とする経営指標

- ・クラウド事業の拡大を加速する為の製品開発など
先行投資を拡大する計画
- ・製品開発に伴うソフトウェア償却については
2024年度比で2025年度以降の伸びは鈍化する見込み
- ・2027年度以降に計画している100万クラウドライセンス達成の
ため、クラウド設備に関わる費用は2025年度以降も増加を計画
- ・2026年12期の計画につきましては、修正を検討

(単位：百万円)

	2022年 12月期 実績	2023年 12月期 実績	2024年 12月期 実績	2025年 12月期 修正計画	2026年 12月期 中期計画 修正検討
売上高	3,551	3,923	4,376	5,250	修正検討
営業利益	444	572	729	1,300	修正検討
営業利益率	12.5	14.6	16.7	24.8	修正検討

※2025年12月期 通期業績予想につきましては、2025年7月25日に修正開示しております。



中期経営計画

■事業戦略 クラウド事業を成長ドライバーに、リカーリングレベニューを拡大

中期経営計画における事業成長戦略

1

HRMオールインワンソリューション※を目指した製品機能開発の加速

2

旧製品である「勤次郎Enterprise」
オンプレユーザーの「Universal勤次郎」
によるクラウド化

3

プライシング戦略

4

従業員向けサービス（BtoE）の拡充と
コンシューマー向けサービス（BtoC）への展開

2025年度2Qまでの主な実施事項

- ✓働き方と健康経営のコンサルで生産性と企業価値に寄与
するべく長年のノウハウを活かした高機能システムの拡充
- ✓セミナーや展示会での直接訴求による顧客に響く価値提
案の実施

- ✓クラウドへの移行及び自社クラウドサーバーの整備

- ✓価格改定の実施
2024年3月：「Universal 勤次郎」および「勤次郎
Enterprise/Lite/Smart シリーズ」の価格改定のお知
らせ

- ✓「HRMプラットフォーム（Universal勤次郎）」を自社
活用し、8年連続で健康優良法人に認定
- ✓コンシューマー向けアプリによる従業員及び一般消費者
に向けた健康価値の提供

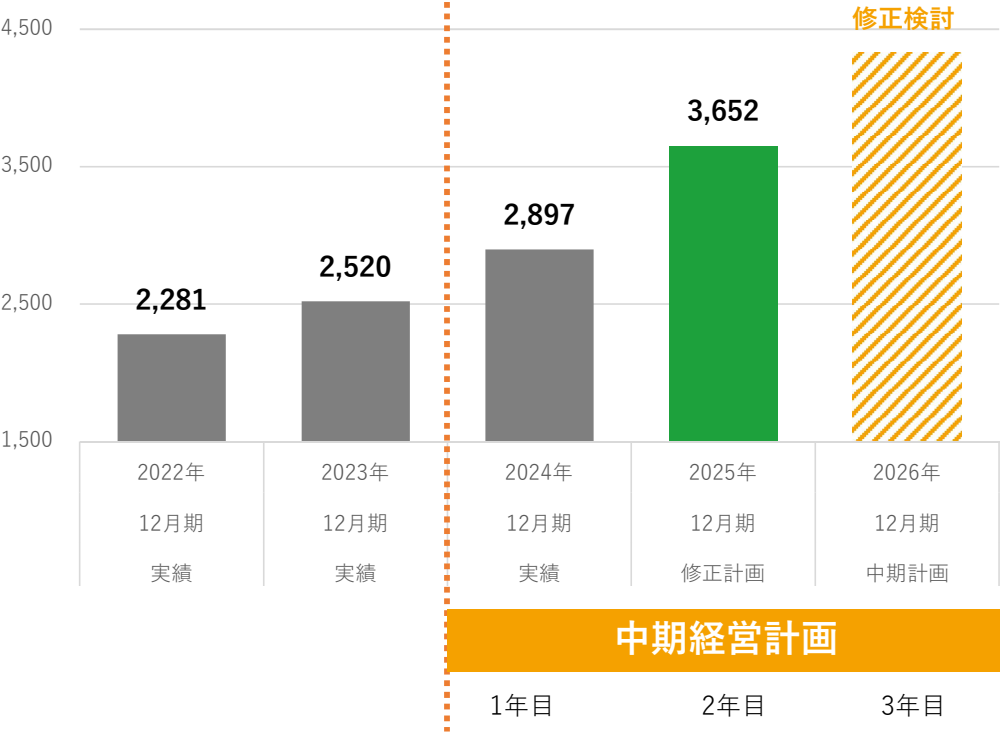
※当社が提供するHRMソリューションは、就業、勤怠、人事、給与、人的資本データ提供を伴った健康経営となります。

主な経営指標（5年）の推移

■中期成長戦略が着実に進展していることが各種指標においても顕著に

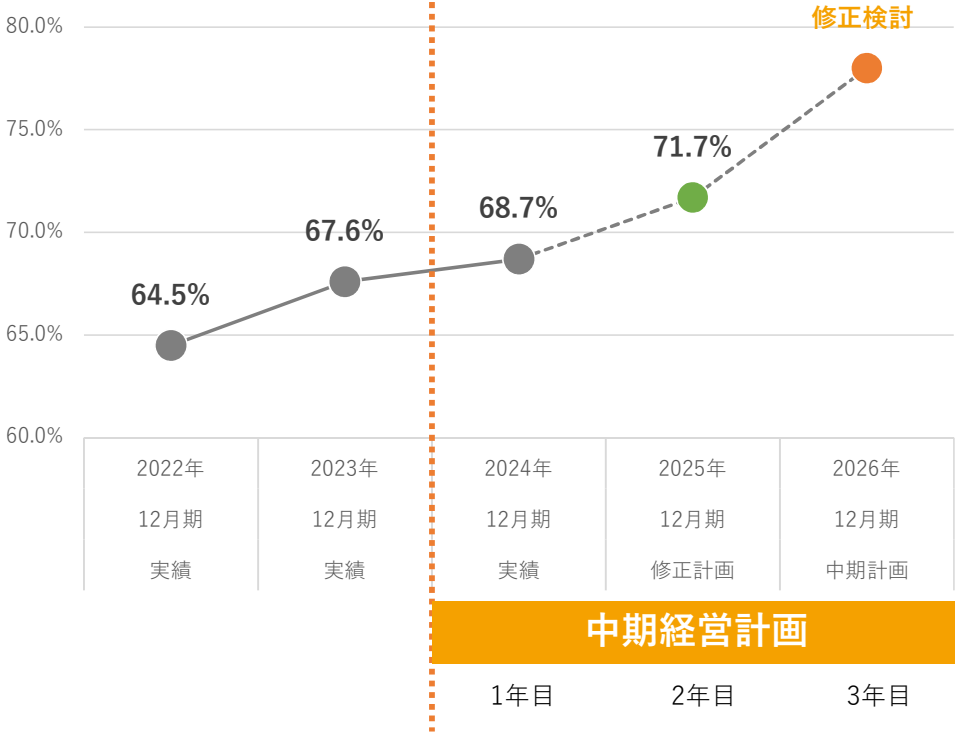
■リカーニングレベニューの推移

(単位：百万円)



■リカーニングレベニュー比率の推移

(単位：%)

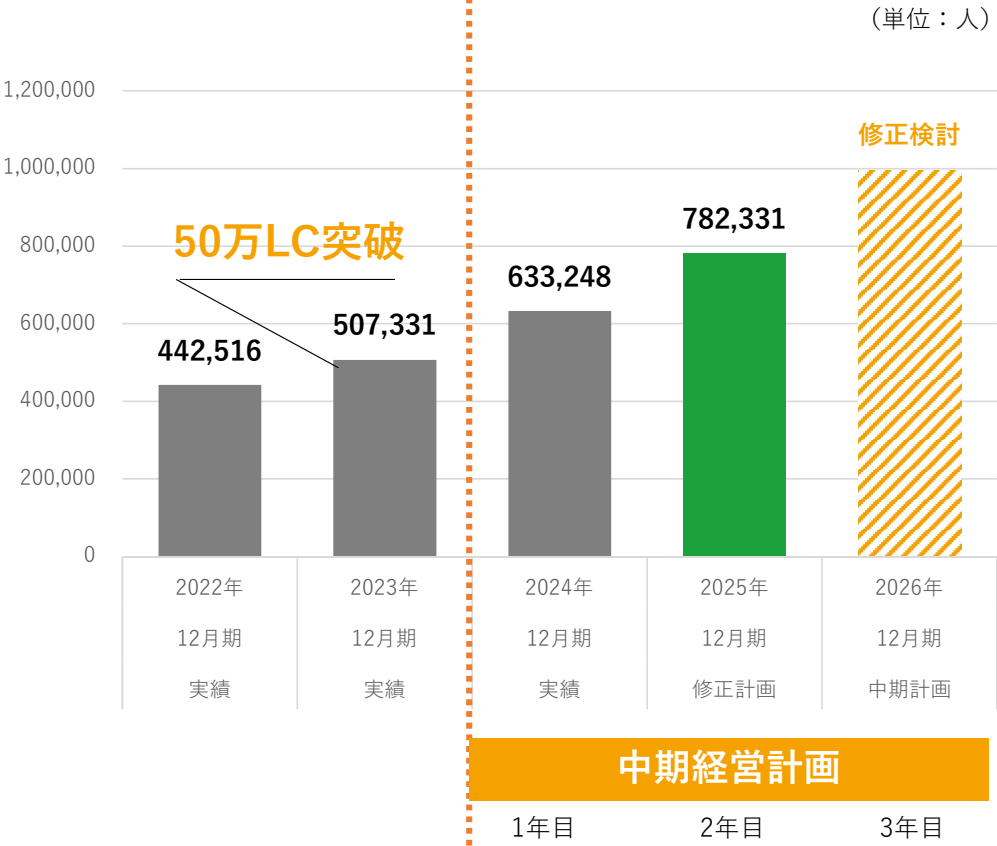


※2025年12月期 通期業績予想につきましては、2025年7月25日に修正開示しております。

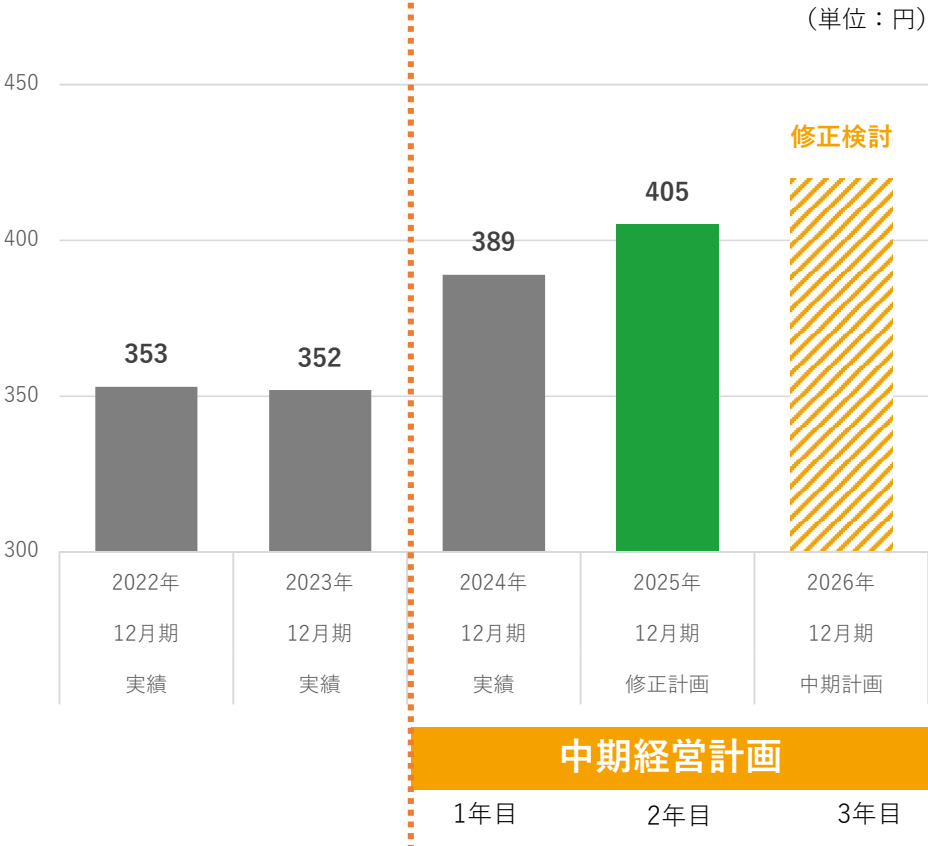
主な経営指標（5年）の推移

■中期成長戦略が着実に進展していることが各種指標においても顕著に

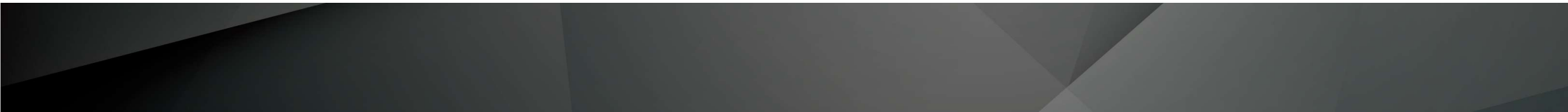
■ クラウド契約ライセンス数の推移



■ ARPUの推移



※2025年12月期 通期業績予想につきましては、2025年7月25日に修正開示しております。

- 
- 
1. 2025年12月期 第2四半期連結決算
 2. 2025年12月期 修正計画
 3. 中期経営計画の進捗状況
 4. **トピックス**

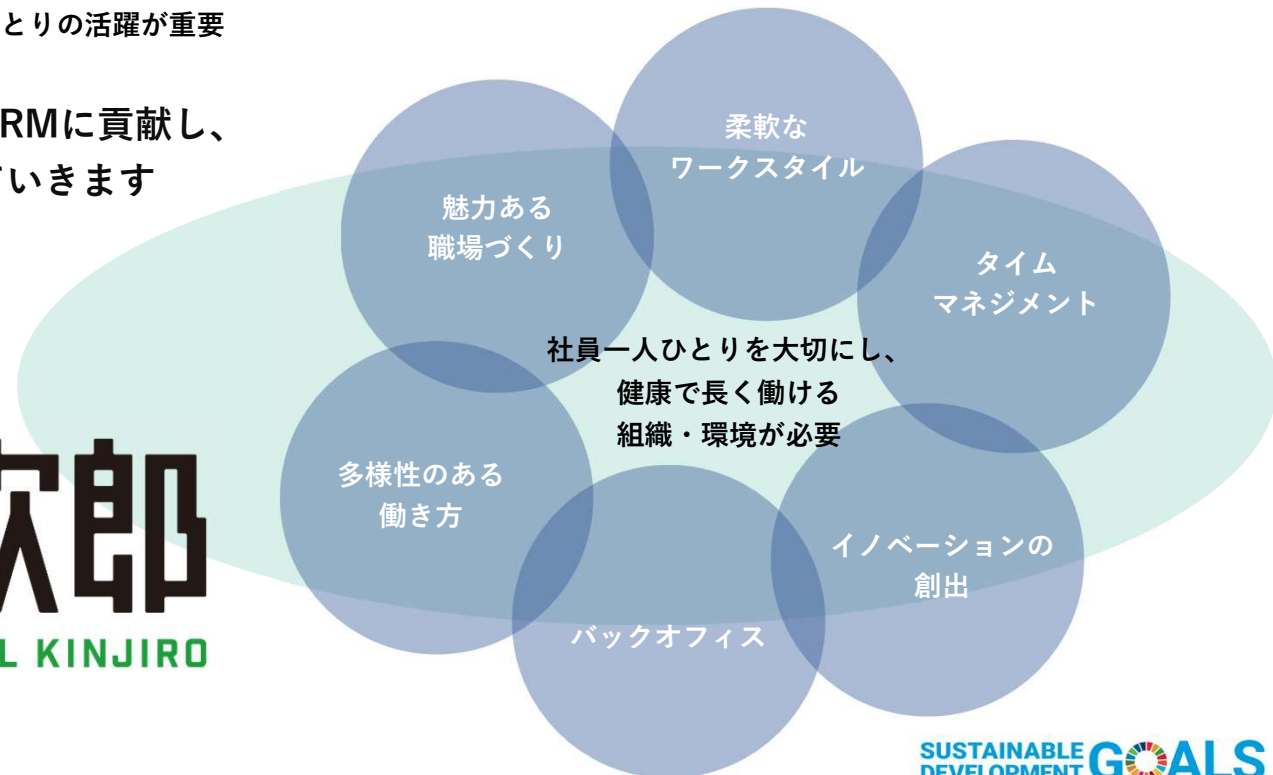
勤次郎のミッションと強み

■現代日本の社会課題を解決する製品・サービスを提供

今後、労働人口は大きく減少し働き手一人ひとりの活躍が重要

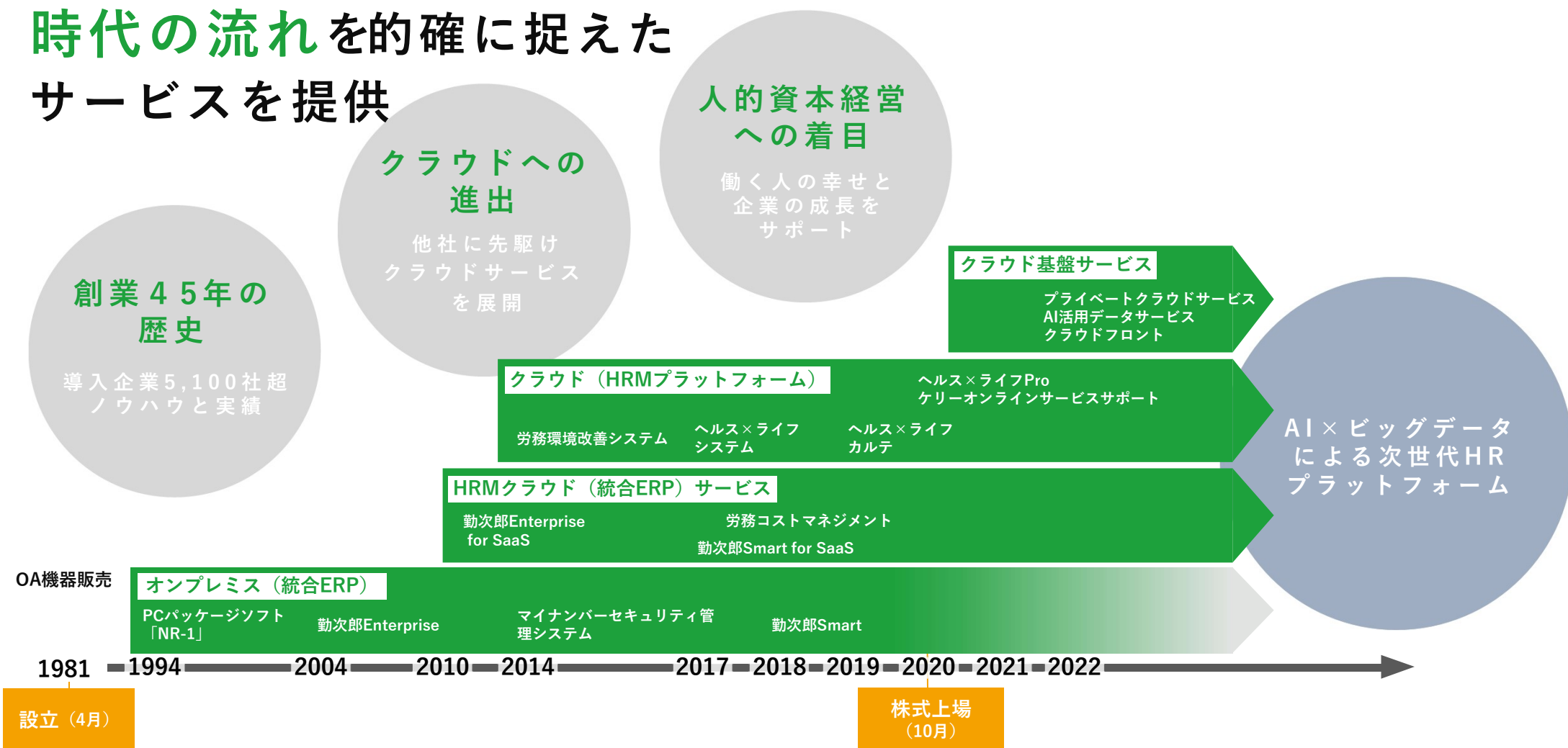
「Universal勤次郎」で、企業のHRMに貢献し、
日本が抱える社会課題を解決していきます

勤次郎
UNIVERSAL KINJIRO



勤次郎の歴史

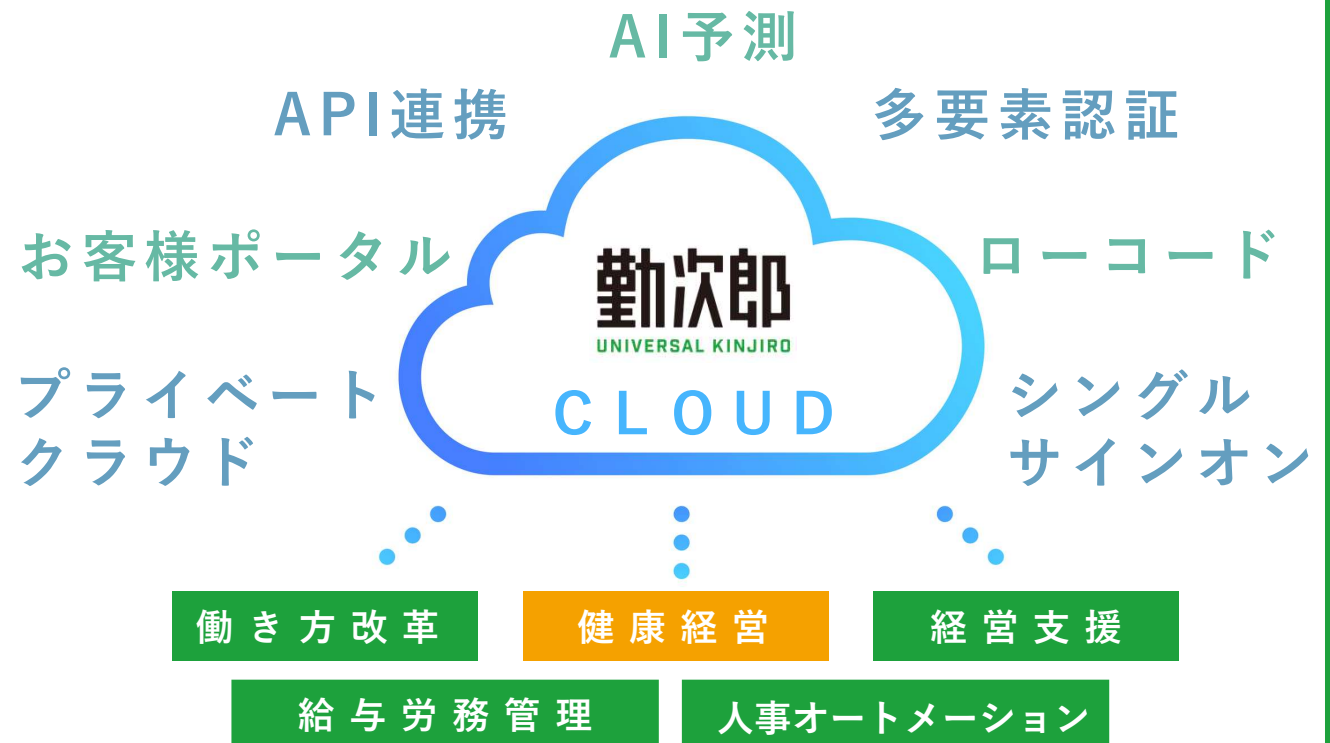
時代の流れを的確に捉えた サービスを提供



事業内容

「働き方改革 & 健康経営」の実現のために労務と健康を同時に管理、
「労働生産性」の向上を通じて「企業価値向上」に貢献

働く人の
健康と幸せが
企業の未来を築く

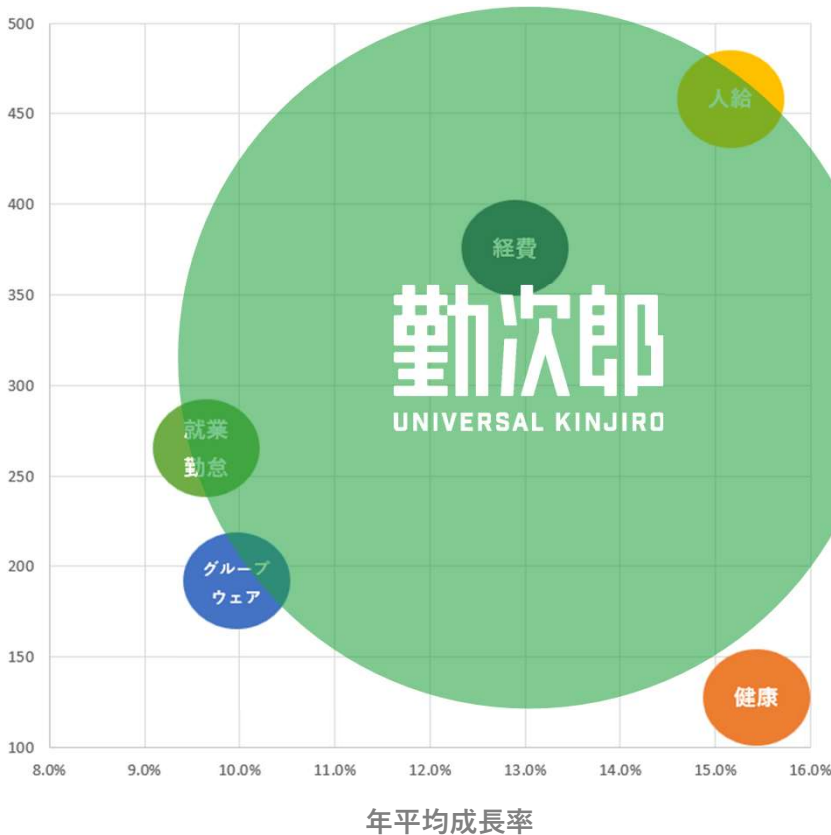


人的資本経営

■2023年度市場規模（億円）と年平均成長率（`28/`23）

● 勤怠管理 ● 健康経営 ● 人事・給与 ● 経費精算 ● グループウェア

（単位：億円）
2023年度市場規模



成長市場である
健康経営システムの強化で
HRMのトップランナーを目指す

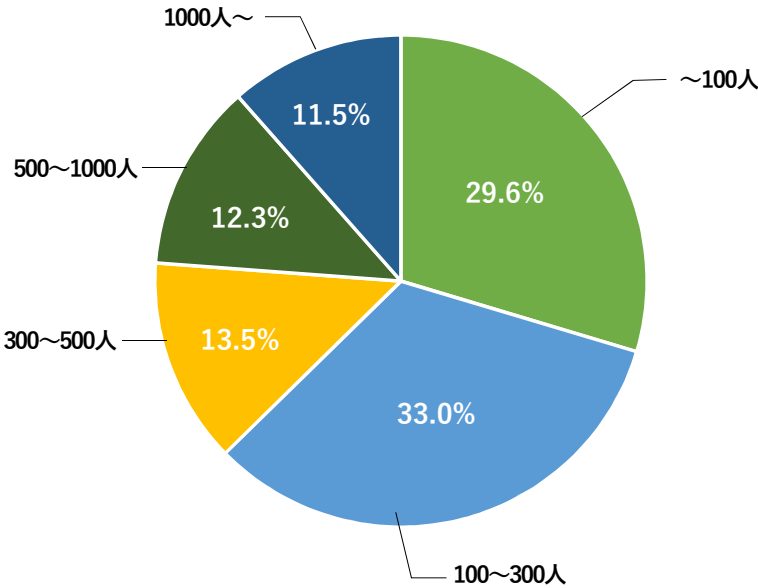
	年平均成長率	市場規模
グループウェア	9.8%	187億円
就業・勤怠管理	9.5%	268億円
人事給与	15.2%	455億円
経費精算	12.8%	377億円
健康経営	15.5%	116億円

出典：富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2024年版」

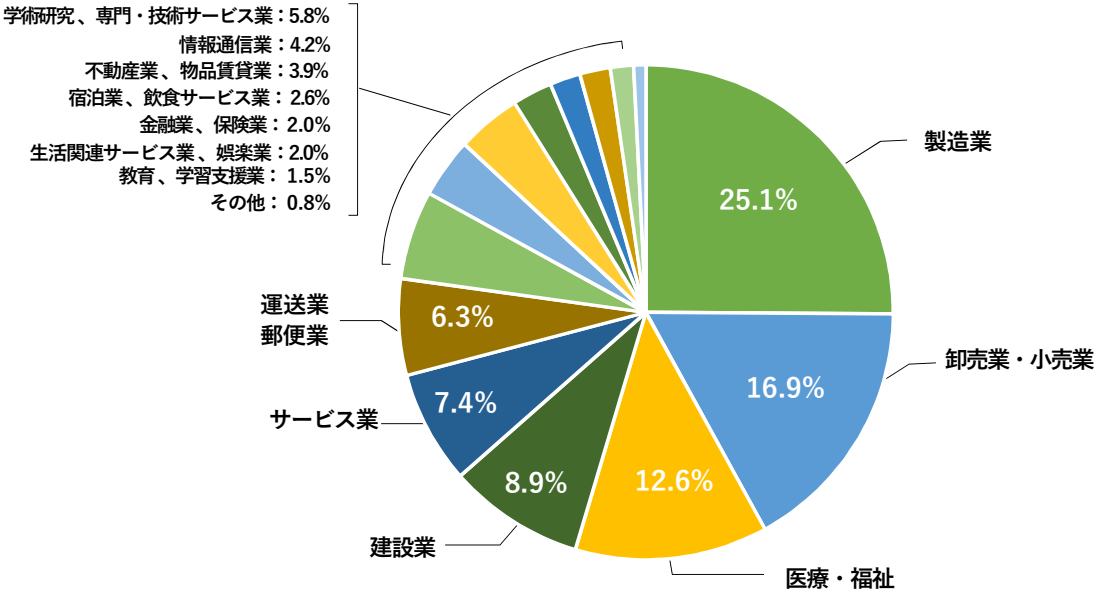
勤次郎導入実績構成 規模別・業種別状況

■中小企業から大企業まで、多様な業種のニーズに対応

従業員規模別の導入構成



顧客の業種別比率 ※多種多様の企業に導入



※2025年6月末 クラウド事業とオンプレミス事業における実績

「ISO/IEC 27017」 認証を取得

■セキュリティ信頼性の継続的な強化

勤次郎株式会社は、2025年5月27日付で

情報セキュリティマネジメントシステム（以下、ISMS）の国際規格である ISMS 認証（JIS Q 27001:2023(ISO/IEC27001:2022)）の更新、及び ISMS クラウドセキュリティ認証（JIP-ISMS517-1.0（ISO/IEC27017:2015 に基づく ISMS クラウドセキュリティ認証に関する要求事項））を取得。これにより、最高水準のセキュリティ基盤で、すべての働く人を支える HRM サービスとして、安心と信頼をさらに強化。

■認証取得の概要

ISMS 認証：

適用規格：JIS Q 27001:2023(ISO/IEC27001:2022)

登録番号：JUSE-IR-238

登録改定日：2025年5月27日（初回登録 2011年）

登録範囲：ソフトウェア設計・開発、ASP提供、保守サービスISMS

クラウドセキュリティ認証：

適用規格：JIP-ISMS517-1.0

（ISO/IEC27017:2015 に基づく ISMS クラウドセキュリティ認証に関する要求事項）

登録番号：JUSE-IR-238-CS01

登録日：2025年5月27日

登録範囲：人事・労務・健康管理クラウドサービス
（Universal 勤次郎クラウド）

■今後の展望

- ・ 認証取得を活用し、全てのユーザーに安心して利用いただけるクラウド基盤を継続的に強化
- ・ セキュリティを差別化要素として、クラウドシフトの加速と新たな市場開拓を推進
- ・ 将来的には 公共分野でのISMAP対応を視野に、体制整備を調査・検討

News Release

勤次郎株式会社
東証グロース
コード番号 4013
2025年6月4日

Universal 勤次郎クラウドサービスが「ISO/IEC 27017」認証を取得
～最高水準のセキュリティ基盤で、すべての働く人を支える HRM サービスへ～

勤次郎株式会社（本社：東京都千代田区、社長：加村 光造）は、2025年5月27日付けで、情報セキュリティマネジメントシステム（以下、ISMS）の国際規格である ISMS 認証（JIS Q 27001:2023(ISO/IEC 27001:2022)）の更新、及び ISMS クラウドセキュリティ認証（JIP-ISMS517-1.0（ISO/IEC27017:2015 に基づく ISMS クラウドセキュリティ認証に関する要求事項））を取得したことをお知らせします。

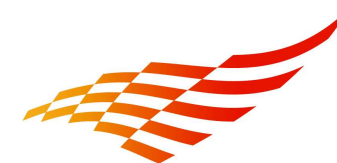
当社は今後も、高水準な情報セキュリティ体制の維持・強化を進め、お客様に安心してご利用いただけるサービスを継続して提供してまいります。



< サステナビリティ > 健康経営への取り組み

■8年連続で「健康経営優良法人」に認定

経済産業省と日本健康会議の「健康経営優良法人 ホワイト500」に3,869社中300位以内として認定。



2025
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門
ホワイト500

■「HRM プラットフォーム」を自社で活用

Universal勤次郎（HRMプラットフォーム）を自社で活用し、8年連続健康経営優良法人に認定されました。

■「なごや健康宣言優良事業所」も受賞

「名古屋市×協会けんぽ」から2年連続で「健康宣言優良事業所」を受賞しました。



健康経営度調査フィードバックシート

確定版

CODE: A04013

令和6年度 健康経営度調査フィードバックシート

法人名: 勤次郎株式会社

英文名: Kinjiro Co.,Ltd

■加入保険者: 全国健康保険協会 愛知支部

■所属業種: 情報・通信業

上場

①健康経営度評価結果

■総合順位: 251~300位 / 3869 社中

■総合評価: 62.9 ↓1.3 (前回偏差値 64.2)

※「ホワイト500」に該当するかについては、回答法人全体ではなく申請法人に絞った順位で判定するため、フィードバックシートの順位から繰り上がり認定される場合があります。

②評価の内訳

側面	重み	貴社	回答法人全体トップ	業種トップ	業種平均
総合評価	-	62.9	69.2	67.1	50.8
経営理念・方針	3	63.2	68.7	68.5	50.1
組織体制	2	67.7	68.3	67.7	50.2
制度・施策実行	2	67.0	71.9	70.6	51.9
評価・改善	3	56.5	69.9	66.3	51.1

■貴社 ■回答法人全体トップ ▲業種 ◆業種平均

全体トップ トップ 平均

※各側面の数値は、回答法人全体の平均に基づく偏差値です。各側面の数値に重みを掛けた値を合算して、得点・順位を算出しています。

※トップの数値は項目毎の最高値です。なお、所属業種の有効回答が5社未満の場合、業種トップには「-」を表示しています。

2025年 勤次郎元気プロジェクト活動状況

- 若手社員による「勤次郎元気プロジェクト」で、健康経営への取組みをさらに強化
様々なイベントを実施



2025年度の活動コンセプト

カラダ、ココロ、軽く ～ 笑顔でつながる健康な未来へ ～

◆宅配弁当の導入を開始

- ・名古屋本部を対象に実施。ヘルシーなお弁当が注文できます。

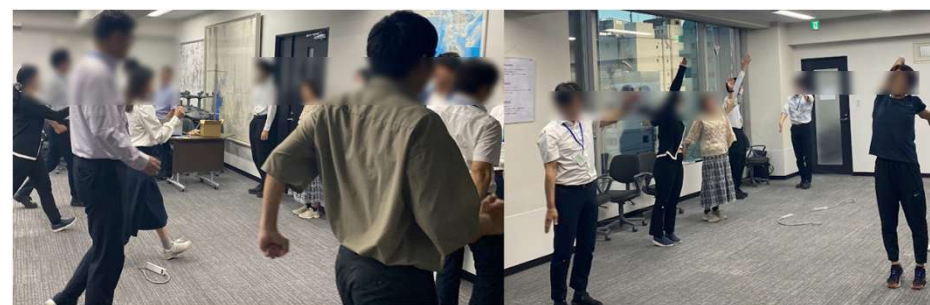
◆オフィスグリコの導入を開始

- ・東京名古屋の拠点を対象に社員のエンゲージメントを高める施策として導入を開始しました。



◆運動イベント：「歩き方セミナー」

- ・歩数ランキングイベントにあわせて、運動効果をさらに高めてもらうことを目的に、セミナーを実施いたしました。



免責事項およびご注意

本資料の掲載内容のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当し、これらの記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいており、リスクや不確定な要因を含んでいます。

実際の業績は、経済情勢、業界における競争状況、新サービスの成否などさまざまな要因により、これら業績などに関する見通しとは大きく異なることがあります。

働く人の健康と幸せが、企業の未来を築きます

